

第8回 九州医学哲学・倫理学会 学術大会 報告

大会テーマ

「患者に寄り添う医療とは」

日時：2017年9月2日（土） 11:00～17:00

会場：鹿児島大学教育学部 103教室

開会式：11:00-11:05

演題発表(1)：11:05-11:35

「笑顔の蘇生 - 自閉症のある子どもの現象学的考察 - 」

中野桂子（福岡医健専門学校・非常勤講師）

座長：榎本直樹（産業医科大学）

演題発表(2)：11:45-12:15

「伝統医学における「医療」の位置づけ」

森口真衣（日本医療大学，保健医療学部）

座長：佐藤岳詩（熊本大学）

昼食：12:15-13:00

総会：13:00-13:40

< 特別講演 >：13:50-14:50

「病院倫理委員会と臨床倫理コンサルテーションチームの役割と課題」

藤野昭宏（日本医学哲学・倫理学会会長，産業医科大学教授）

演題発表(3)：15:00-15:30

「初めて「看護倫理」の授業を担当して把握した問題：いつ、何を、誰が、どのように教えるべきか」

永田まなみ（熊本大学大学院生命科学研究部）

座長：新名隆志（鹿児島大学）

演題発表(4) : 15:40-16:10

「DNARをめぐる誤解と混乱について - Patial or Limited CPR の倫理的妥当性一」

板井孝彦郎 (宮崎大学)

座長 : 門岡康弘 (熊本大学)

演題発表(5) : 16:20-16:50

「着床前遺伝子スクリーニング臨床適用に関する倫理的考察」

児玉正幸 (国立大学法人, 鹿屋体育大学, 名誉教授)

座長 : 高橋隆雄 (熊本大学)

閉会式

16:55-17:00